

令和4年度 理科 科
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
化学	化学	3	A B	4	必修選択	140 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・演習・実験
教科書	改訂 化学，東京書籍
使用教材等	セミナー化学基礎＋化学，第一学習社 フォトサイエンス 化学図録，数研出版

科目の目標・内容等

学習目標	1・2学年に学んだ化学基礎をベースに、化学の基本的な概念や原理法則の理解を深め、大学共通テストおよび理科系上級学校の入学試験に対応できる力を養成する。
学習における留意点	入試対策の講座であり、進度はかなり速い。また、毎回予習復習をきちんとしてくる努力が必要である。春休み中に各自で昨年度の全内容復習を終えること。
予習・復習	毎回予習復習をきちんとしてくる努力が必要である。特に復習に力を入れて、問題演習に励むこと。単元終了ごとに小テストを実施する。
評価方法	小テスト・定期考査・提出物・実験態度等から総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	○物質の状態 1. 物質の状態 2. 気体の性質 3. 溶液の性質 4. 固体の構造 ○化学反応とエネルギー 1. 化学反応と熱・光 2. 電池と電気分解 ○物質の変化と平衡 1. 化学反応の速さ 2. 化学平衡 3. 水溶液中の化学平衡	・物質の三態 ・気液平衡と蒸気圧 ・気体の状態方程式 ・溶解と溶液 ・希薄溶液の性質 ・コロイド ・結晶格子 ・反応熱と熱化学方程式 ・ヘスの法則と結合エネルギー ・電池、電気分解 ・化学反応の速さと濃度、圧力、温度 ・可逆反応と化学平衡 ・電離平衡 ・塩の水への融解	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・限られた時間の中で問題解決の方法を見付けられるか。
2	○無機物質 1. 無機物質各論 ○有機化合物 1. 有機化合物各論 ○高分子化合物	・非金属元素の単体と化合物 ・典型金属元素の単体と化合物 ・遷移元素の単体と化合物 ・有機化合物の特徴と構造 ・炭化水素 ・アルコールと関連化合物 ・芳香族化合物 ・合成高分子化合物 ・天然高分子化合物	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・限られた時間の中で問題解決の方法を見付けられるか。
3	○入試直前演習	入試対策演習	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・限られた時間の中で問題解決の方法を見付けられるか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。